

# めいか



令和2年9月1日

文京区立明化幼稚園

## 前へ

園長 野田久美子

例年よりも長い梅雨が明けたと思ったら、猛暑へと気温が一転し、文京区でも連日高温注意情報が入りました。熱中症予防や新型コロナウイルス感染拡大防止など、ご家庭ではいつも以上に健康管理に気を配って過ごしたのではないのでしょうか。また、長い時間お子さんと一緒に過ごす中で、「こんなことができるようになった」と成長に気付く場面も多くあったことでしょう。9月は残暑の厳しさから徐々に季節が変わり、秋らしくなります。暑さ疲れで生活リズムを取り戻すのが難しいかもしれませんが、まずは朝早く起きて活動し、夜は早めに寝ることからリズムを整えていきましょう。

先日、古い本を見付けました。6年生の時、担任の先生に紹介していただいた大関松三郎の『山芋』という詩集です。当時、その中の『馬』という詩の一節が好きでした。

『…どうして後へなんかいくもんか 前へなら進んでやる

いくら重い荷物をひいてでも進んでやる…』

農家の親方が重い荷車を引く馬を後戻りさせて納屋に入れようとしてますが、馬は嫌がり動きません。何度か試みた親方があきらめて馬を前に進ませたところ、ぐるりと回ってすんなりと納屋に入りました。松三郎が6年生の時の詩です。馬の気持ちを代弁している松三郎、最後に前に進む馬を見て『ばんざいと さけびたかった』と綴っています。

先の見えない時代だからこそ、子どもたちには未来に向かってたくましく生きる力を身に付けてほしいと願っています。ある時はゆっくりと、またある時は立ち止まりながらも前を向いて進む子どもたちをともに育てていきましょう。

2学期は、子どもたちが夏休みに蓄えた力を発揮する機会がたくさんあります。子どもたちが自分でできることを増やし、自分の力を発揮し、自己肯定感を味わえる2学期にしていきます。友達がいること、友達と一緒に行動する楽しさが味わえる2学期にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



幼稚園のピーマンとアサガオ